

環境整備事業



5月17日、本格的な観光シーズンを前に、環境整備の一環として大津漁港・長節湖・湧洞湖周辺の海岸沿いのごみ拾いが行われました。

この日は豊頃町観光協会（大谷友則会長）と十勝魚つきの森推進協議会（茅野優会長）を組織する町内の農協、漁協、商工会、建設業協会と大津漁港建設利用促進期成会などの団体や帯広開発建設部、帯広建設管理部など関係機関から多数の人が参加し、空き缶や空き瓶、ペットボトルなどのごみを約一時間にわたり拾いました。

集められたごみは合計約1トンとなり、昨年と同様、ペットボトルや空き缶が多い状況でした。

大津で沖出し訓練



5月14日、大津漁協（茅野優組合長）は漁船を沖合に避難させる際に要する時間を調査するための沖出し訓練を行いました。

訓練には大津、浦幌町厚内の両漁港で漁船26隻が参加しました。

安全と見込まれる水深20メートル（沖合3.2キロ前後）の地点までにかかった時間は15～20分程度でした。

また、訓練に伴って、大津地域づくり協議会（前川剛司会長）が大津地域コミュニティセンターで、大津漁協女性部厚内支部（藤谷咲子支部長）が厚内公民館で炊き出し訓練を行い、訓練参加者に食事を提供しました。

大津保育所が開所しました

大津保育所が、平成22年に休所して以来、約3年ぶりに開所しました。

4月1日に入所式が行われ、4人の元気な子どもたちが入所しました。



広報とよころ

広報とよころ

社協だより

社協だより

魚つきの森で植樹



5月18日、湧洞の十勝広域森林組合所有林で、十勝魚つきの森推進協議会（茅野優会長）による「十勝川魚つきの森植樹祭」が行われました。

当日は大津、豊頃の各小学校、大津漁協、豊頃農協、豊頃町商工会、豊頃町建設業協会、帯広建設開発部や十勝総合振興局など14団体、約100人が参加し、1,650本のカラマツの苗木をスコップや鍬などを使って1本1本丁寧に植えました。

町公共育成牧場で入牧



5月17日から町内3か所にある二宮、湧洞、トイトッキの町公共育成牧場で預託牛の入牧が行われました。

二宮牧場で708頭、湧洞牧場で371頭、トイトッキ牧場で201頭が入牧し、10月末までの約5か月間、飼い主から離れ、広い牧場でんびり過ごします。

朝早くから運び込まれた牛たちは、獣医や農協職員らの手によって、耳に虫除けタグを取付けられ、駆虫などを経て牧場に放されました。

創意工夫功労者賞受賞



町の誘致企業アイシン精機（株）豊頃試験場で勤務するエフティテクノ（愛知県豊田市）社員の二村龍哉さんの社内グループが、今年度の文部科学大臣表彰の創意工夫功労者賞を受賞しました。

試験車両下部に付着した一般道に散布されている塩化カルシウムなどを試験場に入る前に洗い流す作業の負担を軽減する洗浄機を開発し、今回の表彰となりました。

4月23日に役場応接室で伝達式が行われました

大津クリーン作戦



5月2日、大津小学校と大津子供育成会（前川幸大会長）による「クリーン作戦」が行われました。毎年場所を変えて行われており、今年は大津旅来線沿いの片道5キロほどの区間で行われました。

生徒と教職員、地域住民らが12か所に分かれ、道路脇や、駐車場などをのごみを火ばさみを使って拾い集め、開始から1時間ほどで40リットルのごみ袋約50袋以上のごみが集められました。

豊中クリーン作戦



5月16日、豊頃中学校で「豊中クリーン作戦」が行われ、全校生徒と教職員が学校周辺の道路脇などのごみを拾い集めました。当初は14日に実施予定でしたが、雨でこの日に延期となりました。

玄関前で行われた団結式では、生徒会長の廣澤真生子さんが、「自分たちが生活しやすい環境になるように、みんなで協力して頑張りましょう」と挨拶し、各学年が2～4班に分かれて火ばさみでごみを拾い集めました。

はるにれ撮影案内板設置



5月11日、強風の影響で倒壊した町の指定文化財「はるにれ」の撮影案内板を新妻組（新妻嵩社長）が修繕し、設置しました。

撮影案内板は、「ハルニレを愛する仲間会」（大崎英樹会長）と、新妻組が地域貢献の一環として2005年に「はるにれ」のある十勝川河川敷内に設置したものです。

この日は「はるにれ」周辺の草刈を中心とした清掃活動も行われました。

